

新着図書

「なぎさ」

山本 文緒 (著) KADOKAWA (出版)

同窓生夫婦の冬乃と一弘は、生まれ故郷の長野を飛び出し、久里浜で静かに暮らしていた。一弘と会社の後輩の川崎は、自分たちの会社がブラック企業だと気づいていた。一方、冬乃は転がり込んで来た妹と、「なぎさカフェ」を始めることになる。姉妹が開店準備に忙殺されるうち、一弘と川崎の身にはそれぞれ大変なことが起こっていた。姉妹のよどみ、夫婦のすきま風、青年の挫折…それぞれが抱える重荷と苦難、そしてそれを乗り越え生きることの希望を描く。



「老人漂流社会」 他人事ではない“老後の現実”

NHKスペシャル取材班 (著) 主婦と生活社 (出版)

どこで老後を過ごすのか。どうすれば、「自分らしい“終の住処”」を見つけ出せるのか。反響を呼んだNHKスペシャルの書籍化。番組内では伝えきれなかった「自らの老後を、自らで選ぶ」ということの難しさと大切さについて詳しく伝える。

お知らせ

「ちゅうりっぷの会」による

乳幼児のためのおはなし会

日時 2月26日(水) 午前10時30分～
場所 中央公民館 視聴覚室
対象 0歳児～
今月のテーマ 「おに」
大型絵本・パネルシアターなど
親子でお楽しみください

「どろぼうがっこう ぜんいんだつごく」

かこさとし (作・絵) 偕成社 (出版)

世にもおかしなどろぼうがっこう。ろうやに入れられてしまった、くまさか校長先生と生徒たちは、「だつごく」の計画をたてる。じゅんびばんたん、明日はいよいよ「だつごく」の日。ところがどうしたことが、いつもとようすがちがう？
「どろぼうがっこう」の40年ぶりの続編。

図書室利用案内

開室時間

- 月曜日～土曜日
午前9時30分～午後6時
(土曜日は午後5時)
- 日曜・祭日 午後1時～午後5時
- *お一人 4冊まで 2週間借りられます

「ひとりぼっちのかいぶつといしのうさぎ」

クリス・ウォーメル (作・絵) 吉上 恭太 (訳) 徳間書店 (出版)

みんなにきらわれて、さみしさのあまり、かいぶつは、石でうさぎをつくった。石のうさぎは動かないけれど、それでもかいぶつは幸せだった。みにくい外見の内にかくれた、やさしく美しい心を描いた絵本。

立科町公民館 (教育委員会 社会教育人権政策係) 有線 4000

小・中学校

教育委員会

総合的な学習の時間 発表展

地域に密着した素材を活用した総合的な学習の成果をまとめて展示し、地域の皆様に1年間の活動の成果を見ていただく機会として開催しています。

日頃の学校生活の様子がうかがえる興味深い内容を展示する予定です。

開催日時 2月21日(金) 午後1時～午後5時
22日(土)・23日(日) 午前10時～午後4時
開催場所 ふるさと交流館「芦田宿」

